

藤間秋男の

お元気さまです。

●今月の経営テーマ “自社の強みを発揮しよう!”

自社の強みを発揮することで次のようなメリットがあります。

①お客様から求められる会社になります ②お客様にさらに喜んでいただけるようになります

③仕事に誇りが持てるようになります ④業績が上がります ⑤新しい商品、サービスを生み出すことができるようになります



株式会社 日本創造教育研究所「理念と経営」カレンダーより

(1) ワンマンによる マネージメントが失敗する前。(ドンキ
ワンマンによるマネージメントが失敗する前) そのワンマン自身
が、同僚と協力すること、人に信頼すること、そして
人に責任を押しつけることを学ばなければならぬ。
創業者は、付き人をマスターでやる。チームのリーダーと
なることを学ばなければならぬ。
経営は組織を通じて成果をあげる仕事です。あなた
という多数の人間が、共通目的のもとにひとつの集団となる
ために絶対なくてはならない。マネージメントは
常に危険と隣り合わせのワイルド経営です。トップ マネジ
メントチームのリーダーとして仕事をこなして下り。
まとも事業の成長は加速します。(山下洋一郎)

(2) 睡眠の極意 3つの法則 (作持康弘 菅原洋平)

- ① 朝5分-光を見る。ヒトの生体リズムは、光を感知
したときにスタートします。リズムの分泌が止まると
止まります。
- ② 昼5分-目を閉じる。睡眠物質がたま。
ピークになるのは、目覚めてから8時間後。22時間後。
6時を過ぎると、眠りのピークが14時頃です。
その前、その前、正午の5分と10分でも目を閉じ
ると、スッパリした感覚を覚えます。30分以上ないと、
夜間の睡眠の質が悪くなります。
- ③ 夕方5分-姿勢を正す。夕方、眠りを止めます。

その夜は眠りが浅くなり、筋肉を傷めて
姿勢が悪くなり、体を動かす用事をすると、自然に
夜の眠りも浅くなるリズムがつかず、また
以上の睡眠の法則を使うと、毎日イキイキ仕事をして下り。

(3) ほめて認めて、気づかせ、人は育つ (西村豊子 協賛 協賛
「ほめる達人」になるための5つの心得 理事長
ほめる人は必ず成長します。

① 覚悟をもってほめさせる。
結果が出るまで、ほめさせる覚悟が必要。また
部下に信じて覚悟が必要。

② 価値を発見して伝える。
社員の価値をいかんにかき出していく。それが大切
事は「思い込みを外す」こと。

③ 違いの良さを活用する。
社員の多様化を認めて受け入れ、ほめる。「それ、
面白いね」「そんな発想もあるんだ」

④ 3S+1を口癖にする。
S = 「すごい」「すごい」「素晴らしい」「すごい」「尊敬します」
「すごい」
1 = 「嬉しいね」「どうですか」(違いを活用する言葉)

⑤ 経営理念と基本ルールを作る。
ほめ「理念通りかどうですか」「これは「理念からきた
おかしなね」「やると言っている」「これは
とこそ尊敬します。」

(4) 仕事が終わったときに3分10 (2分半の言葉集)
毎日日本人は、仕事の中で自分の仕事を楽しい人が
圧倒的に多い。

又、高校生のアンケートでも、自分の価値を人間
① 自分はどれだけの価値があるか。日本①2.5% ② 46%
アメリカ③57% ④ 64% 中国④2% ⑤ 10%
韓国⑥20% ⑦20% と日本は自分の価値を低くみている。

- (5) 明白了人生了。(松岡浩, 清北千子)

(6)日本の百年企業 (理念と経営で藤岡界男が/年譜)
取材をします。その第一号で
法政大学院久保田教授と取材する

- ① 飲食と経営の4月号研究会より、600回を向かっている。
- ② 創業者の志は「システム」として残せ、①-④ 株式会社ファンレシ社長 財田純司 理事長 寺島康郎
- ③ お客様に心の在る業人がもつてこそ、最優先する経営
- ④ 理念は「世の中の不安・不便・不満・不信を人の不の解消」
- ⑤ 企業は成功を収めると、成功が失敗をつるが、
- ⑥ 女性が一生涯かける会社を100年後までつるべき。
- ⑦ 知る、工夫する、行動する、感謝する、笑う、を行動指針
- ⑧ 柔軟な心持ちと目かけ合いの社員が、女性の働きやす、職場
- ⑨ 作らぬ、の世帯を21世紀にふさわしく築き直す。【に経
- ⑩ 時代は変わり続けるものだから、あなたも変わり続けるが、
- ⑪ 取組がやる仕事のうち、じつは8割くらいはマニュアル化で済
- ⑫ ニつ同時に挑戦するは、大体一つはうまくいく
- ⑬ お客様のなにかから来ようとする、ふたつあると、他社か
から石のこころを。⑤-⑦ 株式会社エスロネ 東山省子社長 ⑧-⑩ 株式会社水野染工場 水野弘敏 社長
- ⑭ 注い、どうしたも存する、こころ、笑って立ち向かうが
- ⑮ 先祖の遺訓を受け継ぎ、堅実と身の上、しるい。
含めた経営と徹する。⑬~⑮ 時計宝石 めがねのヨダ 吉田清春社長
- ⑯ ニコニコ・ハキハキ、キビキビ、笑顔でやりとりするから
日々研鑽を怠らぬ ⑮~⑰ 日農徳太郎
- ⑰ 肌身、自らして会社と親の背中を見よう、職任一体
が、後継者を育てる。
- ⑱ 大きな意思決定は、天に問うて答えて得るべき。
- ⑲ 私意・私意。天皇國、我保正るべきは己と克つ。
- ⑳ 神聖な職場への仕事と、私心を交えては行ける。
- ㉑ 己と謙虚に省みるには、お客様の声は聞かなくてはならぬ。
- ㉒ 「にんげん」として、そして人から物事を完成する。



- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| ① 仕事に“ルーティン化”を取り入れる | ⑥ 自分の行動を俯瞰する“メタ認知能力”を高める |
| ② “普段の自分”と競う | ⑦ 一人になる時間をつくってセロトニンの分泌を促す |
| ③ 仕事の位置づけを変える | ⑧ 職場で“小さな達成感”を積み重ねていく |
| ④ 嫌いな人の幸せを願う | ⑨ “無駄な自分のための時間”をつくる |
| ⑤ わざと遠回りして脳に“新しい刺激”を与える | ⑩ お酒を飲んで愚痴る |